

プログラミング基礎 I 第 1 回 (担当: 大竹, 田村)

<http://www.den.t.u-tokyo.ac.jp/prog> を参照してください.

1. 教育用計算機システムのアカウント

<http://www.ecc.u-tokyo.ac.jp/doc/announce/newuser.html>

新規に教育用計算機システムの利用を希望する場合は、情報基盤センターが主催する「新規利用者向け講習会」を受講し、申込書等を提出してアカウントの発行を受ける必要があります（通常、教養学部 1 年時に夏学期の「情報処理」の講義で手続き済み）。本人確認がありますので、学生証を携行してください。

2. テキスト

情報システム第 1 (鈴木宏正) <http://www.den.t.u-tokyo.ac.jp/prog/cmain1.pdf>

プログラム例の修正: `void main(void)`の部分は全て **int** `main(void)`とする.

プログラムの実行法の修正: `./a.out` (`a.out` の前に `/` をつけること)

3. 第 1 回のテーマは「エディタの使用とプログラムの実行」

- 課題 1 6 ページまでのプログラム(`hello.c` `hello2.c` `fahren.c`)をエディタで入力, コンパイルして実行してください.
- 課題 2 `printf` の書式は色々あります.
Google などでも `printf` を検索してみてください(自分でマニュアルを調べる練習です).
“`%f`”を“`%d`”に書きかえたらどうなるでしょうか.
- 課題 3 `fahren.c` で換算する華氏温度に色々な値を入力して, 結果の表示が見やすくなるよう工夫してみてください.
- 課題 4 `fahren.c` で 3 行にわたって表示される数値を小数点の位置をそろえて表示することを考えます.
“`is`”の部分のそろえるには `printf` 文中の空白を調整すれば良いのですが, 数値部分を数値にかかわらず小数点そろえにするにはどうしたら良いでしょうか? (例えば `100F` を `10000F` にして試してください).
`printf` のマニュアルから関連する情報を探して試してみてください.
キーワードは 「フィールド幅 (数値の文字数が少なくても最低限確保される幅)」
「精度 (小数点何桁まで表示するか)」 などです.
- 課題 5 エスケープシーケンスを使ってみてください.
次の `printf` 文の結果はどうなるでしょうか?
`printf("¥033[34mtest¥033[0m¥n");`
google で「ansi エスケープシーケンス」を検索してみてください.
そもそもエスケープシーケンスとは?

エディタでソースプログラムを編集する, コンパイルして実行する, 出力結果を見やすく表示するよう工夫する, ことができるようになったら OK です. アンケートに記入して提出して下さい.

4. 参考 emacs の基本的な操作方法

<http://hwb.ecc.u-tokyo.ac.jp/current/literacy/editor/emacs/edit/>